

森林経営管理制度を支援する3システムから、「採算林分判定サブシステム」

概要

- 森林経営管理制度支援システムは、①林分の現況が見える化、②林分の診断、③林分の採算性を判定する3つのサブシステムで構成、本システムは林分の詳細な採算性を判定する「採算林分判定サブシステム」。
- 使用データは航空レーザやドローンによる空撮によるマクロ評価と、地上レーザによる立木ごとのマイクロ評価を組合せ。
- 伐採木ごとの造材シミュレーションから詳細な売上を予測。
- 地形および伐採木位置をもとにした、路網設計シミュレーションから伐採経費を予測。
- 売上と経費を反映したプラン書(森林施業見積書)を自動作成し、収益を予測。

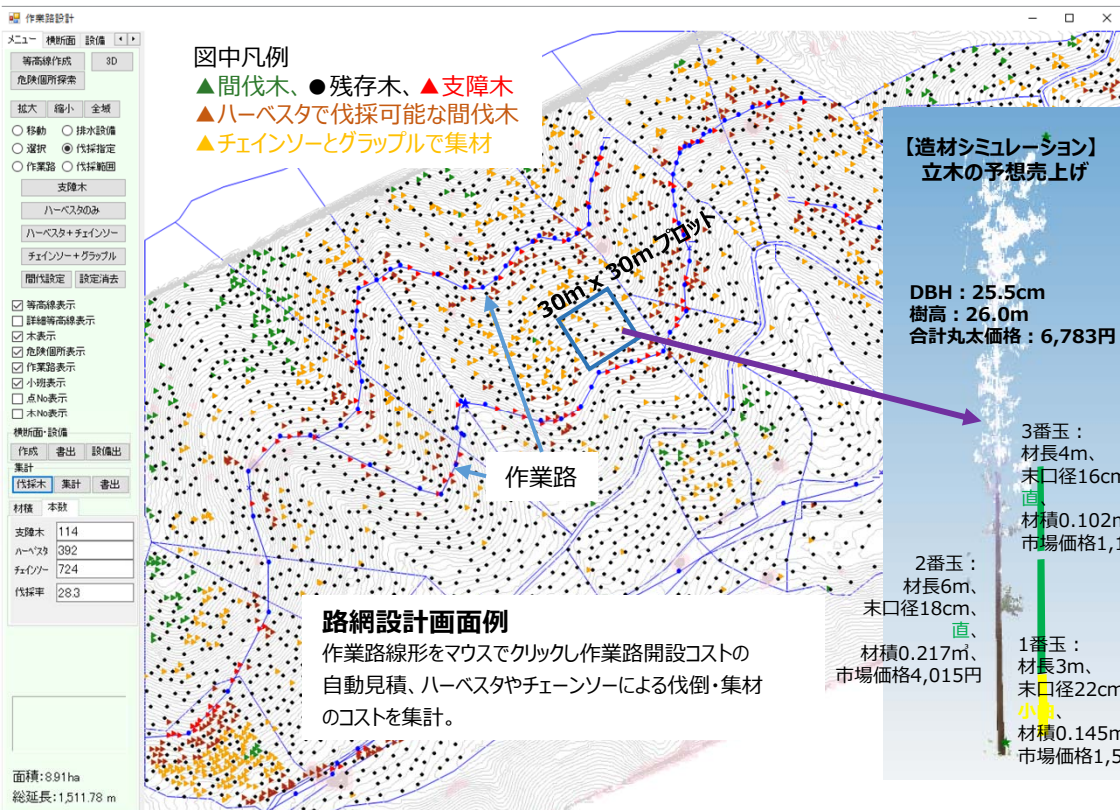
導入効果

- より確度の高い収益見積を短時間で立案。
- 条件を変え、売上と経費のシミュレーションを行うことで、収益の最大化をもたらす戦略を立案可能。
- 造材シミュレーションの間伐条件設定(収益最大、森林整備優先等)により森林の将来を計画。



○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹
茶	花き		林業	
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	その他



造材シミュレーション例

プロット(例: 30m x 30m) 中のシミュレーションによる造材と、原木市場の直近の丸太落札価格から、売上見積を行い、林相・小班全体の売上を予想。

プラン書(森林施業見積書)作成例

路網開設コストと売上見積を自動転記し、両者を比較、林分ごとに採算性を判定。

対象品目	水	木	米	畑	果	畜	漁	水産	その他
生産額	440	440	440	440	440	440	440	440	440
経費	440	440	440	440	440	440	440	440	440
利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0

林分	面積	材積	材積単価	材積単価	材積単価	材積単価	材積単価	材積単価	材積単価
林分1	100	100	100	100	100	100	100	100	100
林分2	100	100	100	100	100	100	100	100	100
林分3	100	100	100	100	100	100	100	100	100

○ 開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

連絡先

(株)woodinfo セールsteam
TEL:070-4327-0284
<http://www.woodinfo.jp/>
info@woodinfo.jp



お問い合わせ
フォーム

情報記載日 : 2020年10月30日